

I 高等専門学校の現況及び特徴

1 現況

(1) 高等専門学校名 福井工業高等専門学校

(2) 所在地 福井県鯖江市

(3) 学科等の構成

学 科：機械工学科，電気電子工学科，電子情報
工学科，物質工学科，環境都市工学科
専攻科：生産システム工学専攻，環境システム工
学専攻

(4) 学生数及び教員数（平成24年5月1日現在）

学生数：学 科 996人

専攻科 52人

専任教員数： 76人(校長含む)

助手数： 0人

2 特徴

福井工業高等専門学校(以下、本校と略称)は、実践的開発型の技術者の養成を目的に昭和 40 年 4 月に創立され、機械工学科，電気工学科，工業化学科の 3 学科で発足した。その後，昭和 45 年度に土木工学科を，昭和 63 年度には電子情報工学科を増設した。平成 5 年度に土木工学科を環境都市工学科に，また平成 7 年度には工業化学科を物質工学科として改組した。さらに，平成 17 年度には，電気工学科を電気電子工学科とした。したがって，現在の学科構成は機械工学科，電気電子工学科，電子情報工学科，物質工学科，環境都市工学科の 5 学科からなり，本校の基本理念に掲げる環境を意識し，地域社会に根ざしたものづくり教育を行っている。また，平成 10 年度には専攻科を設置し，生産システム工学と環境システム工学の 2 専攻においてさらに進んだ教育を行っている。本校は，創立以来 6,792 名の本科卒業生及び 349 名の専攻科修了生を社会に輩出しており，卒業生・修了生は工業・技術系の有益な人材として我が国の産業界で活躍している。

教育の特徴としては，豊かな創造力とデザインマインドを持つ技術者を育成するため，ものづくり教育を積極的に推し進めていることが挙げられる。例えば，NHK アイデア対決ロボットコンテストでは，平成 5 年度と平成 9 年度の 2 度にわたって最高賞であるロボコン大賞を獲得し，平成 12～22 年度にわたっては連続して全国大会への出場を果たした。また，高等専門学校連合会主催の全国高等専門学校プログラミングコンテストや，同デザ

インコンペティションにも毎年積極的に参加し，受賞歴も多く，平成 20 年度の同デザインコンペティションでは優秀賞を受賞した。さらに，平成 22 年度の文部科学省等主催のデザインパテントコンテストに応募した専攻科生は，意匠登録出願支援対象者として表彰された。

教育のもう一つの特徴として，工学基礎コースを全国で初めて設置したことがある。平成 17 年度から設けた同コースは，入学時に学科を決められない中学生のために，2 年次より転科可能なコースであり，中学校側からの評価も高い。

本校は地域連携テクノセンターを核にして，地元で立脚し，開かれた学校を目指した地元密着型の産官学共同研究を進めている。平成 16 年度には，福井県の伝統産業である和紙の生産者組合，福井県和紙工業協同組合と地元の依頼により伝統産業支援室を設置し，和紙に関する共同研究を行っている。

さらに，本校が立地する鯖江市は世界最大の眼鏡枠生産地であることを受け，福井県眼鏡工業組合とも新しい産官学共同研究事業を実施している。平成 17 年度には，地場産業支援室を設置するとともに，地域社会との連携を一層深めるため，同年度，近隣 2 市 1 町と包括的な連携である地域連携協定を締結し，さらなる共同研究・出前授業・リカレント教育に取り組んでいる。

国際連携としては海外学生派遣制度の他，平成 17 年度からオーストラリアの Ballarat 大学と提携し，学生の相互交換留学制度を開始し，定期的に交流を図っている。

学校運営の評価として，平成 14 年度に校外の有識者による外部評価委員会(平成 16 年度から評議員会，平成 21 年度から外部有識者会議)を設置し，外部有識者会議開催後にはその結果の開示を行うとともに，毎年自己点検・評価書を発行し公表している。

本校は，平成 17 年 5 月に福井県初の日本技術者教育認定機構の認定校となった。その後も，教育の質の向上と改善のために公開授業の実施，学生・教員相互からの評価を行っている。さらに，本校卒業生・修了生や企業・大学を対象にアンケート調査を定期的に行い，それらの結果に基づき継続的な改善に努めている。